応用数学　第３章　情報理論

第１章線形代数、第2章確率統計にはなじみがあったのだが、第３章情報理論には触れたことがなかった。

自己情報量の定義からビデオだけでは理解できなかったため自己情報量をgoogleで検索した。確率が小さいもののほうが情報量が多く、足し算ができるというのは何となく理解できた。

そのあとのシャノン・エントロピー（自己情報量の期待値）辺りからは分かった気がするという程度の理解にとどまっている。また出てきたところで学習したいと思う。